

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は、変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

<エントリーシート>	部門 校内研修部門	学校名・氏名 鹿児島県 始良市立 帖佐小学校
※事務局記入欄 No.: C-6	活動名 校内研究の推進 ～教育委員会や自主研究団体との連携を通して～	
課題の設定: 課題 1: 「深い学び」が実現された授業とは、どのような授業なのか。 課題 2: 「深い学び」を実現させるために、授業で何を改善すればよいのか。 目標: 「深い学び」について、本校なりに共通理解を図り、授業改善の視点を明確にして「深い学び」が実現される授業を全職員で目指す。		
方針・計画: ※課題を解決するために仮説を立てて、活動内容を組み立てたのか、記載してください。 仮説: 働かせたい見方・考え方を明確にするとともに、自分なりの考えを持ったり、友達と考えを広げ深めたりさせるための手立てを工夫すれば、数学的な見方・考え方が高まる「深い学び」が実現されるのではないかと。 方針: ①働かせたい見方・考え方の明確化 ②見方・考え方を働かせる手立ての工夫 計画: 5月28日(月)「学びの組織活性化プロジェクト」による県教委・教育事務所・市教委と協働研究 6月9日(土)地区算数部会との連携(地区算数部会に参加) 6月22日(金)県算数部会との連携(県算数・数学教育研究大会に参加) 8月21日(火)NRT 全国標準学力検査分析による本校児童の実態把握 10月22日(月)「学びの組織活性化プロジェクト」による県教委・教育事務所・市教委と協働研究		
活動内容: ※方針・計画に基づいてどのような活動を行ったか、また、複数の活動を展開した場合はその位置づけや関連性を記載してください 5月28日 指導案検討を通して、理論の練り上げ、手立ての工夫について協議 6月9日 「深い学び」に関する研究協議 6月22日 「深い学び」に関する実践発表、研究授業の参観 10月22日 「深い学び」の実現を目指した研究授業の実践		
活動の成果: ※課題や目標に対し、どんな影響、変化あったか、職員や参加者の声など客観的な情報・データとともに記入して下さい。 県教委、教育事務所、市教委、県算数部会、地区算数部会等から、情報提供や指導・助言等をいただき、次のような成果を得られた。 ① 「深い学び」のイメージをもてない状況からの研究スタートであったが、図1のように本校なりに「深い学び」を捉えることができ、実践に向けて研究を推進させることができた。 ② 数学的な見方・考え方について、図2のように明確化する方法をまとめることができた。 ③ 研究授業の実践を通して、写真1のように職員の「深い学びの実現」へ向けた研修への関心の高まりがみられた。		
アピールポイント(アイデアや工夫): ※3～5つ程度の箇条書きしてください 「深い学び」の捉え方を明確にもつことで、授業改善の視点を「見方・考え方を働かせる授業」と、より具体的に設定することができる。また、子供たちの見方・考え方が、授業前と後で、どのように変容する授業が「深い学び」が実現された授業なのか学習指導案検討の視点も明確になるとともに、研究授業での成果の検証も子供の見方・考え方の変容に着目して行えるようになる。		

<写真、図表添付欄>

図1

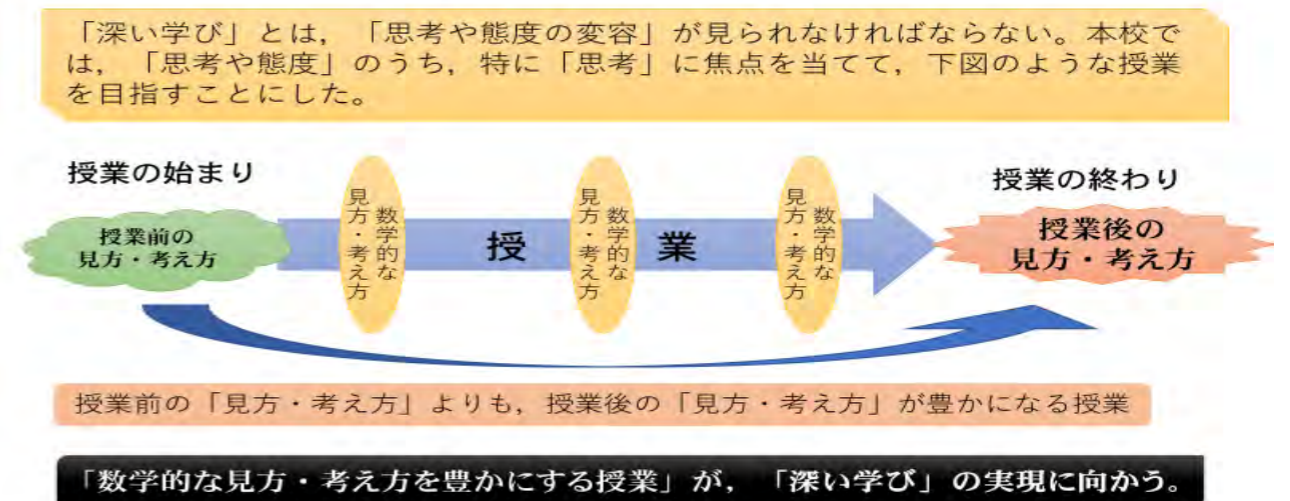


図2

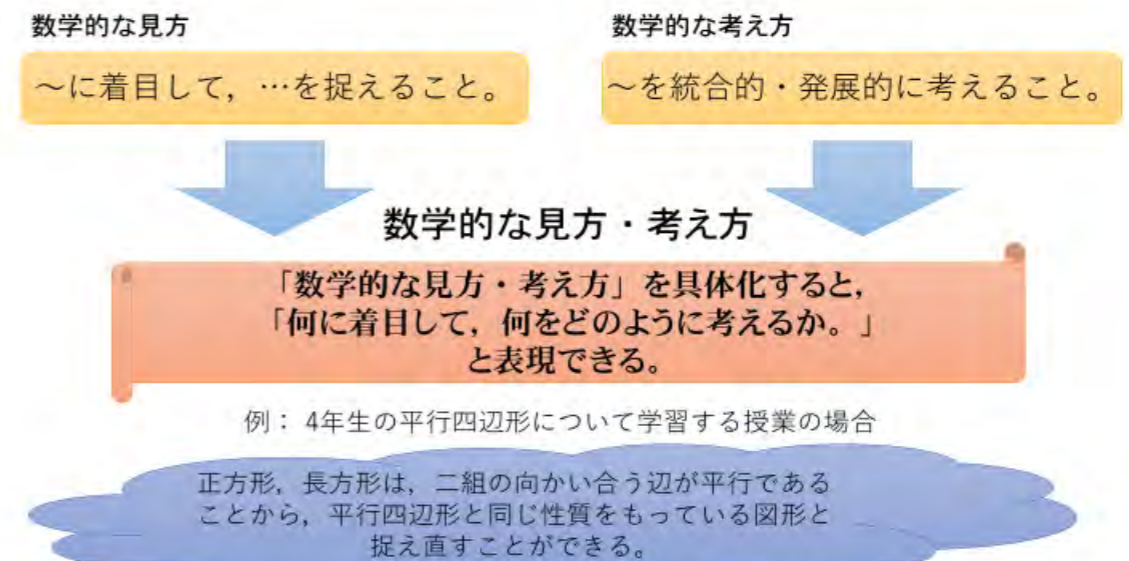


写真1



平成30年9月18日(火)
 職員研修の様子
 「3年算数科学習指導案検討」